

DVD教材を貸し出します

貸し出しの手続き

◎予約申し込み

- ・まず予約申し込みをしてください。電話で結構です。
- ・申込、問合せ先：少年育成センター 電話 228-8547

◎貸し出しの対象

- ・社会教育の用途に使用しようとする市内在住の団体
- ・家庭・地域学びの課長が適当と認めたもの

◎貸出期間

- ・原則として、返納日を含めて7日間以内

◎借用及び返納方法

- ・開所日の午前8時30分から午後5時までの間に直接少年育成センターへお越しください。
- ・閉所日は「土曜、日曜、祝休日及び12月29日から1月3日まで」です。

◎使用料

- ・無料です。

◎その他の注意事項

- ・教材を損傷したときは、返却の時に申し出てください。
- ・借用した教材は期限内に点検して返却してください。また、他に転貸しないでください。

DVD 教材一覧

No. 1



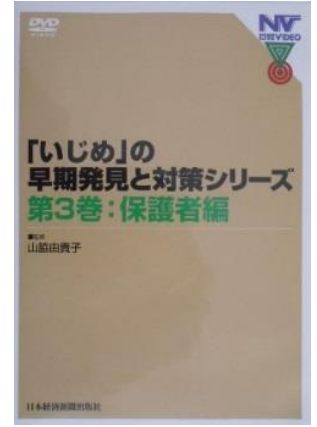
No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9



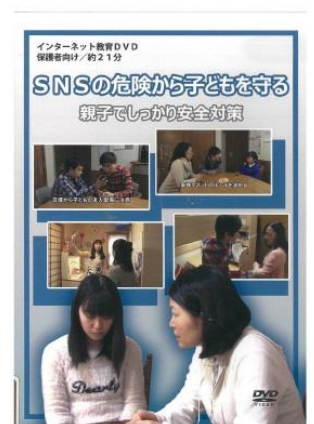
No.10



No.11



No.12



No.	教材コード	整理番号	タイトル	内容	時間(分)
1	713	96	スマホの安全な使い方教室	子どもたちの間で急速に普及している <u>スマホを介した SNS でのトラブルが増加しています。</u> ドラマとナビゲーターの解説を通して個人情報の取扱い、SNS に潜む危険性を取り上げ、スマホの安全な使い方を学びます。	23
2	713	97	親や先生が知らない！ 子供防犯スクール 連れ去り・誘拐編	子どもたちを襲う卑劣な犯罪である連れ去り、誘拐。 <u>その数は年々増加傾向にあります。</u> 通学路や公園など、ありふれた場所で起きる脅威から子どもたちを守るにはどうしたらいいか？子どもたちと保護者、教員が一緒になって学ぶことができる防犯教材。	25
3	713	98	中学生のいのちと心を守る性教育シリーズ 第3巻 防ごう！性のトラブル	使い方を間違えると <u>思いがけない性犯罪に巻き込まれるスマホや無料通話アプリ。</u> また、 <u>若い世代への性感染症の広がりも大きな問題です。</u> 性のトラブルに巻き込まれないために、正確で科学的な知識を解説します。教員、保護者会、中・高校生、みんなで考えましょう。	20
4	713	99	「いじめ」の早期発見と対策シリーズ 第3巻 保護者編	最近の「いじめ」はどのように行われているのか？ <u>保護者が「いじめ」を早期に発見できるポイントと対応方法を解説します。</u> 保護者と学校との連携でいじめに向きあえる教材。詳しくは、少年育成センターへお問合せください。	26
5	713	109	親や先生が知らない！ 子供防犯スクール ネット・SNS トラブル編	SNS の機能をもったアプリやネットサービスは、子どもたちにとって必要不可欠な存在になっています。その一方で、 <u>それが援助交際やいじめなどの芽ともなっています。</u> そんなトラブルから子どもたちを守るにはどうしたらいいのでしょうか。	25
6	713	113	小学生のスマホの安全な使い方教室～自分も相手も傷つけないために～(第1巻)	スマホを正しく使用しないと、 <u>自分や相手を傷つけたり、危険な目にあうことになります。</u> そのような目にあわないためには、子どもたちが情報モラルを身につけることが大切です。スマホを利用して	21
7	713	113	小学生のスマホの安全な使い方教室～危険な目にあわないために～(第2巻)	トラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子どもたちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説します。	18

8	-	-	教員のための保護者対応力向上シリーズ 第2巻：保育園・幼稚園編	<u>ディスカッションとロールプレイングで保護者対応力が向上する教員研修用コンテンツです。</u> 多くのじれいから各自が考える研修を行え、対応の心構え、対応の基本から違法行為への対応法までを、ドラマ演出で解説します。	20
9	-	-	教員のための保護者対応力向上シリーズ 第3巻：小学校編		20
10	-	-	教員のための保護者対応力向上シリーズ 第4巻：中学校編		20
11	713	100	ネットワーク社会のトラブル～危険性と安全対策～	<u>SNS上のいじめ、オンラインゲームの高額課金。ケータイ依存など、いま子どもたちの間で急速に広まるスマートフォンなど情報端末のトラブルとその対処法を、具体的な事例を取り上げて解説します。</u>	20
12	713	108	SNSの危険から子どもを守る親子でしっかり安全対策	<u>ネットを安全に使うためにはどのようなことを心がけたらよいのか、大人と子どもがともに考え学んでいくきっかけとなることを目指します。</u>	21